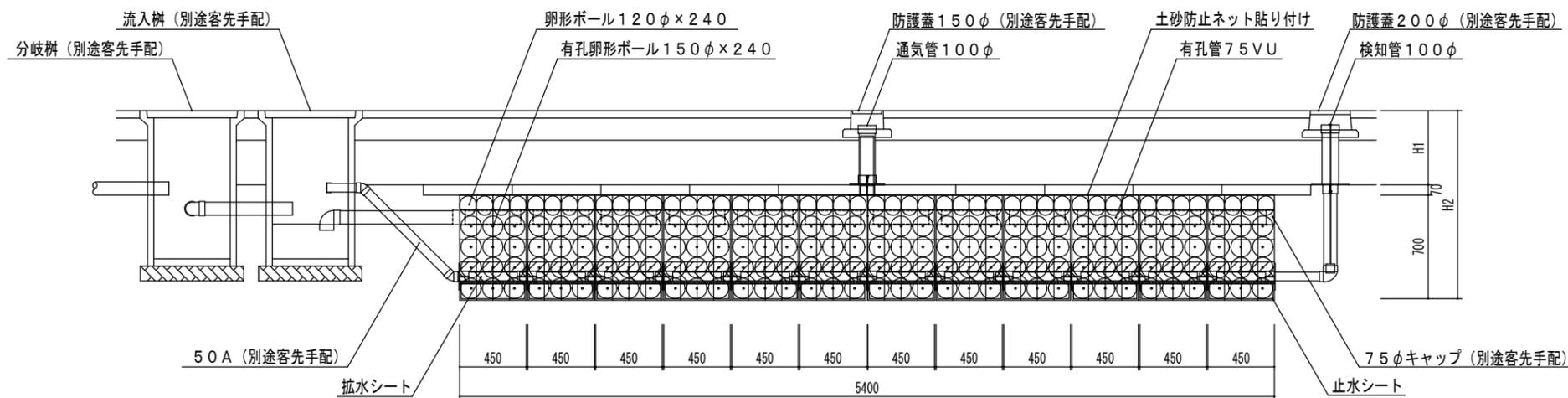


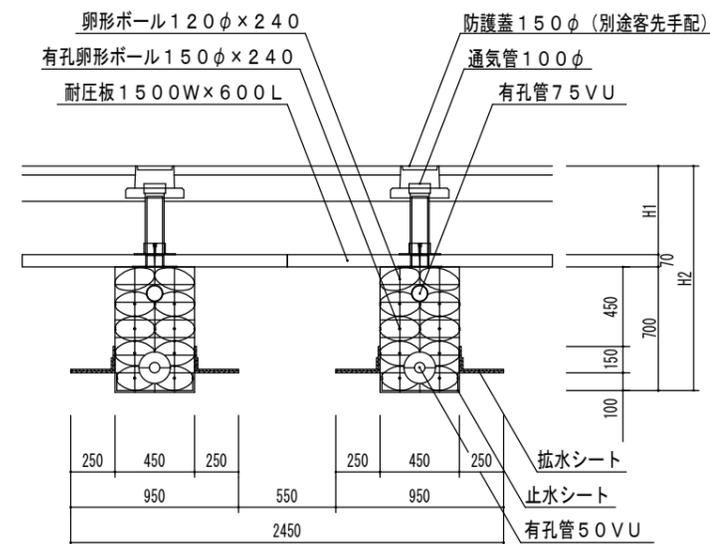
計画汚水量 : 6000 L/日
 処理能力 : 250 L/基
 必要基数 : $6000 \text{ L} \div 250 \text{ L} = 24.0$
 24基とする
 必要処理面長 : $0.45 \text{ m} \times 24 \text{ 基} = 10.8 \text{ m}$
 ※ H1 : 400mm以上 (中耐荷重対応)
 : 600mm以上 (重耐荷重対応)
 H2 :
 検知管用防護蓋 : 参考品番 FVK-20セット
 通気管用防護蓋 : 参考品番 HB-D (A) 15Aセット

1. 各行政の取扱指導要綱に準拠し、合併浄化槽放流水を敷地内処理する装置とする
2. 雨水浸透ます付近及び雨水等の流入する恐れのない場所へ設置すること
3. 粘土層等の透水性が悪い土壌への設置は行わないこと
4. 地下水位が装置底面より1m以上離れている場所で湿潤でない場所へ設置すること
5. 処理装置の端より建築物、隣地境界までの距離は1m以上とする
6. 処理装置上部は物を置かないこと
7. 維持管理を適正に行うこと

SRS-EPS 土壌拡散処理システム平面図



A-A断面図



B-B断面図